

# 製品安全データシート

会社名 武藤化学株式会社  
住所 〒113-0033 東京都文京区本郷2-10-7  
担当部門 学術課  
緊急連絡先/受付時間：月曜日～金曜日、9:00~17:00  
電話番号 03-3814-5511 FAX 03-3815-4832

MSDS番号 I-022

作成 2000年08月04日  
改訂 2009年05月18日

---

製品名 MICROXイマージョンオイル HEG-M

---

## 物質の特定<sup>1)</sup>

単一製品、混合物の区別：混合物

含有成分(注)

---

化学名(注)	テルフェニル	水素化テルフェニル	ポリブタン	炭化水素(天然由来)
含有量(注)				
化学式	$C_{18}H_{14}$	$C_{18}H_{28}$		

---

注：イマージョンオイルタイプAの製造元である米国Cargill社は本品の成分はノウハウであり、公表しません。そのため成分の詳細及びその比は不明です。

---

## 危険有害性の分類<sup>1) 2)</sup>

分類の名称：引火性液体

危険性：引火性の液体

有害性：蒸気の吸入の可能性あり。皮膚及び粘膜から少し吸収される。

注：本品の引火点は163℃であり、その引火点から分類すると、消防法第四類引火性液体第3石油類に該当する。従って本品の通常の使用条件(室温)では引火の危険性はない。

---

## 応急処置<sup>1) 3)</sup>

目に入った場合：流水で十分に洗う。目に刺激を感じる場合がある(必要に応じて眼科医の診察を受ける)

皮膚に付着した場合：付着又は接触部を石鹸で洗い、水で十分すすぎ洗いする。必要に応じて医師の診察を受ける。

吸入した場合：本品の通常の使用条件では蒸気の吸入の可能性は小さい。もし吸入した場合は直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。

---

火災時の措置<sup>1) 3)</sup> 消火方法：泡、二酸化炭素消火剤等で消火する。

---

漏出時の措置<sup>3)</sup>

少量のこぼれ：乾燥砂、油処理剤等で回収する。

多量のこぼれ：土砂等で流出拡大防止を図り、回収する。

作業のさいには保護具を着用する。

---

取扱い及び保管上の注意<sup>1)</sup>

火気、直射日光また強力な酸化剤をさけて保管する。また衝撃火花などによる着火源の生じないように注意する。

漏洩の防止

取扱い：換気扇または局所排気装置を作動し、保護手袋（ポリエチレングローブ）等を用い、直接触れないよう注意する。

保管：火気、直射日光をさけ、換気のある所で保管する。

消防法に準じて保管する。

---

暴露防止措置<sup>1)</sup>

許容濃度（イマージョンオイル各成分について）

ACGIH勧告値

---

テルフェニル	5 mg/m <sup>3</sup>
--------	---------------------

水素化テルフェニル	5 mg/m <sup>3</sup>
-----------	---------------------

炭化水素（天然物由来）	5 mg/m <sup>3</sup>
-------------	---------------------

ポリブタン	5 mg/m <sup>3</sup>
-------	---------------------

保護具：保護マスク、ゴーグル、耐油性の手袋、長靴（静電気防止対策用）等の中から作業の状況に適したものを使用する。

---

物理／化学的性質<sup>1)</sup> 外 観：やや淡黄色の粘着性液体

臭 い：やや特徴的な臭いあり

沸 点：340℃

融 点：<0℃

蒸気圧(mmHg, 23℃)：<0.1

蒸気密度(空気=1)(mmHg, 23℃)：ca. 1

水への溶解性(760mmHg, 23℃)：無（非水溶性）

比 重(水=1)：0.9 (g/cm<sup>3</sup>)

本品は反応性に乏しく、安定である。

危険性情報<sup>1)</sup>

引火点：163℃  
火災や爆発の危険性：通常はなし。本品の引火点は163℃であり、通常の使用条件では引火、火災の危険はない。

有害性情報<sup>1)</sup>

毒性：知見なし  
皮膚腐食性：少し刺激性あり  
刺激性（目、他）：少し刺激性あり  
感作性：知見なし  
慢性毒性：知見なし  
急性毒性：知見なし  
がん原性（微生物、染色体異常）：知見なし  
生殖毒性、催奇形性：知見なし

環境影響情報

分解性：知見なし  
蓄積性：知見なし  
魚毒性：知見なし

廃棄上の注意<sup>1) 3)</sup>

引火性のある有害性液体に関する一般的な注意事項により注意して廃棄する。廃棄する場合は焼却によって行うが、ケイソウ土等に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。  
(焼却炉がない場合は、廃液処理業者に廃棄を依頼する)

輸送上の注意<sup>1)</sup>

：取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性のあるまた有害性液体に関する一般的な注意による。

適用法規

消防法：第4類引火性液体第3石油類 非水溶性液体（危険等級Ⅲ）

引用文献

- 1) Material Safety Data Sheet of Immersion oil Type A from Cargill, USA, Jan. 21, 1997
- 2) 東京消防庁監修、消防関係法令集平成8年度版, 1996
- 3) 製品安全データシートの作成指針、厚生省生活衛生局生活化学安全対策室、他監修 社団法人日本化学工業協会 1992年

危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、注意してご利用ください。

記載内容の問い合わせ先

武藤化学株式会社 学術課

TEL:03-3814-5511